

有難うございました！「授業参観&PTA総会」



如何でしたか？今年度最初の授業参観。お子様の成長した姿がそこにあったなら、この上ない喜びです。今、各学級では、学習や生活のルールの徹底を図り、よりよい学級づくりの土台を築く時期です。因みに、教育用語では、この期間を「黄金週間」とも呼んでいます。

子どもたちが、安心してクラスの中で生活し、想いを存分に表現できる環境を整えるためです。いい土壌ができれば、いい作物が育つと同じです。ご家庭での応援も宜しくお願いします。

また、2校時にはPTA総会も実施。CORONA 禍ではありますが、窓を開けるなどの感染対策を十分行っている実施。予算、活動計画、新役員の決定などが滞りなく進み、子どもたちの応援態勢が整いました。何より、沢山の会員の皆様に参加して頂いたことに、心から感謝致します。

ただ、昨年同様、まだまだ実施できない活動も出てくるかと思えます。例えば、廃品回収。計画では、5月中に実施予定でしたが、感染拡大の勢いが止まらない状況に鑑み、実施は難しいとの判断が第1回理事会の中で下されています。子どもたちのためにストックしていたのに・・・という方(保護者だけでなく地域の方にも)も多いかと思えますが、熟慮をし、検討を重ねた結果であることをご理解頂ければと思っています。宜しくお願いします。



心温まった、1年生歓迎集会(*^o^*)

GW 真っ只中の5月6日(木)、3～4 時間目に新1年生を迎える会を実施しました。プログラムとしては、

- ①1年生入場(6年生と一緒に)「ドキドキン！1年生」
 - ②歓迎の言葉
 - ③合唱「1年生になったら」
 - ④6年生からのプレゼント渡し
 - ⑤学校クイズ
- と続いていきました。

そして、4時間目には、校内ウオークラリーの実施。縦割りグループで校内を回り、各教室等にあるクイズを解いて回るという楽しいイベントでした。1年生は、楽しむ中で学校の中を知ることができたようでした。何より、1年生の子どもたちが、縦割り班の交流の中で、「学校って楽しいなあ」「中部小には優しいお兄さん・お姉さんがいっぱいだなあ」など、様々な感情を抱いたに違いありません。そして今まさに、昼休み。縦割り遊びを楽しんでいます。これらの行事をきっかけに、校内の一体感が更に高まれば嬉しいな！そんなことを感じた初夏の一日でした。



ほっと一息

初夏の爽やかな風が吹き、校庭では、花々や虫たちと戯れる子どもの姿も。そんな姿を見ていたら、ふとこんな話を思い出しました。

「小さな命」

今から約30年前のプロゴルフの試合での実話です。ボールを打とうとしていたあるプロゴルファーの動きが、ピタッと止まりました。ボールの下にトンボがいたのです。そのまま打つか、それともトンボを助けるためにボールを拾い上げるか・・・。プロは迷いました。プロゴルフの世界では、1打の差で大きく順位が入れ変わり、当然獲得賞金も変わります。1打に生活をかける厳しい世界。死骸だと思ってそのまま打とうとも考えましたが、念のために羽根に触ってみると生きていたのです。与えられた時間いっぱい使い、悩み続けたプロですが、1打のペナルティーを払ってとうとうボールを拾い上げたのでした。この1打が響き、プロの獲得賞金は大きく下がってしまったと言う話しです。

しかし、この心温まる話は、当時新聞の片隅で小さく紹介されましたが、その後、大きな反響があり、中学校の道徳の資料としても取り上げられたのだそうです。授業を受けた生徒からは、「賞金より、トンボの小さな命を助けた優しさ、思いやりに考えさせられました。どんな小さなことでもいいから、私も人の役に立つ人間になりたい」という感想文が寄せられたそうです。

この話のように大人の背中で子どもたちに人の道を示したいものです。自分は大丈夫か？そう問いながらの毎日が続きます(*^o^*)。

